

**「令和6年度 さっぽろ連携中枢都市圏移住促進業務」
質問と回答（令和6年8月22日）**

質問No.1

該当部分	仕様書 2P
質問	移住者の謝礼・旅費の相場感を知りたい。（宿泊費も必要か） 3か所ということは3地域 人数的には何人くらいを想定か。
回答	先輩移住者の相談員の人数の下限は、1か所当たり1名（合計3名）としております。 謝礼・旅費（宿泊費を含む。）の相場はございませんので、依頼する方との協議により定めていただくこととなります。

質問No.2

該当部分	仕様書 2P
質問	5分程度の移住促進PRとあるが、偏らないようにするには全ての地域での撮影必須条件か？ また、全ての地域で移住経験者のインタビューが必須か。
回答	全ての地域（12市町村）を紹介することが必須です。それぞれの市町村で暮らしの風景等を撮影するのか、ある一定地域に職員や住民やゆるキャラなどを集合して撮影するのか等、その手法については、各提案事業者の自由な提案を求めています。 ただし、仕様書に記載のとおり「移住後の日々の暮らしの様子を伝えることができる内容」であることが必要です。 また、「移住経験者のインタビュー」は、仕様書・提案書にて必須条件としておりません。

質問No.3

該当部分	仕様書 2P
質問	12地域、5分は上記インタビューが入った場合、30秒以下では伝わらないのではないか。濃淡をつけざるを得ないため、一定の見解が欲しい。 また、一本化されたものを各市町村がその後二次利用すると考えてよいのか？それともそれぞれの市町村用にパーツ分けをする必要があるのか。
回答	インタビューは必須としておりません。 12市町村で一本化されたものを各市町村が二次利用することを想定しており、パーツ分けは必要ありません。

質問No.4

該当部分	仕様書 3 P
質問	ノベルティの配布については各市町村からのものか、オリジナルを作成するものとどちらがベターか。
回答	どちらも可能ですので、こういった手法が効果的か、各提案事業者の自由な提案を求めています。

質問No.5

該当部分	仕様書 3 P
質問	移住フェア用のチラシの制作につかう、統一ロゴ（サイトなどに掲載あり）は使用できるのか？共有されるのか？はたまた本件向けにオリジナルで制作を希望しているのか。
回答	サイトなどに掲載がある、前年度の移住フェアのロゴは使用できません。ロゴ制作は必須ではありませんが、チラシ制作等でロゴを使用したい場合は、オリジナルの制作となります。 また、「さっぽろ連携中枢都市圏」のロゴ（下記参照）は、札幌市で保有しておりますので、使用可能です。

質問No.6

該当部分	仕様書 3 P
質問	キッズスペース用のスタッフは有資格者である必要があるか。
回答	有資格者の配置が必要となるキッズスペースの設置を想定しておりませんが、安全にお子さんを見ることができると判断した方の配置を希望します。

質問No.7

該当部分	仕様書 3 P
質問	市町村の定住等の資料を配架できるコーナーとあるが、資料は各自治体から提供されるものであり、購入手配するものでないことを確認したいが齟齬はないか。
回答	配架する資料は、各自治体等から提供されるものであり、購入手配を求めているものではありません。

質問No.8

該当部分	仕様書 3 P
質問	各相談ブースの背面に動画投影が可能なバックパネル、とあるが、プロジェクターもすべての全部のブースに手配するのか？（費用感があわないので検討いただきたい）
回答	市町村相談ブース12か所については、それぞれの職員がプロジェクターを持参するため、手配不要です。 暮らしの相談ブース、先輩移住者相談ブースは、動画投影するかどうか（こういった手法のブースとするか）を含めて御提案ください（パーティションの設置は必須ですが、動画投影は必須としておりません）。 ただし、仕様書3P目「エ（ケ）」のとおり、予備の相談ブースで「移住PR動画」を見ることができる設備は必須です。